

平成27年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493700338	事業の開始年月日	平成26年10月1日
		指定年月日	平成26年10月1日
法人名	日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 ふじがおか		
所在地	(〒 227-0047)		
	横浜市青葉区みたけ台4 1-5		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
定員計		18名	
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日		評価結果 市町村受理日	平成28年5月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者が穏やかに安心して安全に生活が出来るように支援しています。
また、レクや外出の時間を出来るだけ設け、皆さんが毎日を変化のある楽しい生活が送れるように行事等を積極的に実施しています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成28年2月8日	評価機関 評価決定日	平成28年5月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】 この事業所は、東急田園都市線藤が丘駅または青葉台駅から東急バスで約10分、みたけ台バス停から徒歩1分、高台の閑静な住宅街にある。事業所のすぐ前の通りがケヤキ並木という緑の多い恵まれた環境にあり、利用者は、落ち葉の季節になると、毎朝枯れ葉を掃き集めたりして、地域の一員として活動している。
【利用者本位の理念の実践】 事業所は、開設して1年半とまだ日は浅いが、「その人らしい 快適で 穏やかな生活を提供します」を理念に掲げ、利用者がその人らしく暮らせるよう、利用者に寄り添い、時には、夜間に1対1で話をじっくり聴いて、その人が望む快適で穏やかな生活が提供できるよう支援に努めている。職員は一人ひとりの生活リズムを尊重しながら、家族のように親しみをもって接している。
【生活に潤いを持たせる外出やレクリエーション】 道路を挟んですぐ前に法人本部があり、いつでも法人の車を使うことができるので、車いすの方も一緒に外出する機会が多い。地域ケアプラザの催しに参加したり、ユニット全員で桜やアジサイなどの花見や紅葉狩り、動物園などにドライブに出掛け、毎日の生活に変化と張りを持たせている。 日常的には、天気の良い日は少人数に分かれ散歩をしている。また、レクリエーションの一環として、利用者に人気の焼きそばを作ったり、自分が好きなパンを自由に選べるパンバイキングと職員の手作りのおかずを楽しむ日を設けたり、利用者の希望で鰻を食べに外出することもある。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 ふじがおか
ユニット名	ふじがおか 1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域と共に施設作り考え、「その人らしく生きる」「温かい心を持ち接し」この様な考えを常に持ち、実践に繋がっています。	現管理者が職員に問いかけ、事業所独自の理念「その人らしい生活を提供します」「地域とのふれあいを大切にします」を作り、玄関、事務室に掲示し、毎月の職員会議で確認し合っている。職員は利用者の思いに寄り添うよう支援に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	もえぎの地域ケアプラザ主催のおまつりや音楽会に利用者が見学に行っています	みたけ台自治会に加入し、地域ケアプラザの催しに参加したり、事業所前のけやき並木の掃除を利用者で行っている。コーラスや琴を演奏するボランティアの来訪がある。事業所の一周年記念には、近隣に案内を配布し、腰痛予防のマッサージ体験を実施した。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	開所1周年行事等のときに、近隣の方に参加していただけるよう腰痛予防マッサージ教室を開催しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し、利用者様の状況・事故・行事等を報告しています。報告後、家族・自治会長・包括等の意見を頂きサービスの向上に努めています。	2か月ごとに、自治会長、地域包括支援センター職員、事業所家主、利用者、家族の参加を得て開催している。事業所の運営状況の報告後意見交換を行い、自治会長から「ケヤキの枯れ葉が滑って危ない」との要望があり利用者と掃除に取り組んだ。	

5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括の職員・自治会長・の方々に関しては、運営推進会議に参加して頂き、常に情報を共有し、意見交換を行なっています。</p>	<p>区の高齢障害支援課担当職員とはまだ面識がなく、運営推進会議への参加依頼もしていない。地域包括支援センターの催し物に参加し、交流を図っている。グループホーム連絡協議会に加入し、研修に参加している。</p>	<p>運営推進会議の議事録を持参し、区の担当職員に、直接事業所の実情を伝えるなど積極的に連携の強化を図ることが望まれます。</p>
---	---	---	---	--	---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ドアを開けるとバス通りのため玄関は安全対策の為に施錠しています。	法人の研修に参加し、スピーチロックについても学んでいる。月1回の職員会議や申し送り時に、なぜ拘束にあたるのかを話し合い周知している。近くに幹線道路が通っているため、現在は玄関・ユニット入口ともに施錠している。転倒防止のため家族の同意を得て各居室に赤外線センサーを設置している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、毎日の申し送り等で状況を話しながら指導しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、今後内部研修を行なっていく予定にしています。また常日頃から職員間で話せる場を設けていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の際の契約は、全て読み合わせを行い、家族が理解しやすい様に説明をし、不安なく入居できる様に対応をしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に来られた時は家族とコミュニケーションを図り、意見や要望を話して頂けるように努め運営に反映できるようにしています。	面会時や電話連絡の折などに、家族からの意見や要望を聞き取っている。出された意見は、申し送りノートに記入して共有し、職員会議で改善策を話し合い、運営に反映させている。家族からの意見を受け、面会簿を個別に記入できる様式に改善した。家族会の設置を検討中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議を実施。業務の会議だけではなく、スタッフの意見・要望等を聞き、風通しの良い職場作りに専念しております。	職員会議や申送りで職員の意見や提案を聞くほか、申送りノートに気が付いたことを書きとめるようにし、日々の記述の中から意見を吸い上げている。職員からの提案で、利用者の好きなパン食が楽しめるパンバイキングの日を設け、おかげも職員が手作りをすることになった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は給与水準など、やりがいを持って働けるように努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内の研修施設が3階にある為職員が参加しやすい状況です。外部研修に関しても、昨年度から外部研修先との契約を結び、よりスキルの高い研修ができる様になっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今は、月1回のエリア長会議を実施し神奈川エリアのグループホームの状況を把握し問題点等を話し合っております。職員同士の交流は施設研修を兼ねて、随時行っていく予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分なアセスメントをとり、プランを作成しています。スタッフ全員が把握し入居後、安心して生活をして頂ける様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の要望・家族の思い・困っている事を十分に把握し、本人がどのような生活・家族がどのように過ごしてほしいか？を考えながら関係を築いていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員が情報を共有し、本人・家族が何を必要としているかを見極め、対応するように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として敬い、出来る事はご自分でしていただき、その方を尊重し尊厳を保ち生活をしていただけるように勤めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会、外出、外泊等、家族との時間を過ごして頂きながら、本人の情報を共有し、共に支えていくように勤めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設利用前より利用していたカラオケ教室に毎月家族と行かれている方がいます。馴染みの方と会う事を楽しみにされています。このように馴染みの関係が途切れないように支援しています。	入居前からの馴染みの人や場所はアセスメントで把握している。知人や友人が訪ねてきた時は、お茶を出し歓待している。入居前に友人と行っていたカラオケ教室に家族が付き添って通う方がいる。美容院などの馴染みの場所に行きたいという希望は現在はない。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で行うレクに関しては（トランプ・体操・風船バレー）は皆さんと行なえるように声掛けをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了されても、お客様より相談があった場合は対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に応えられるように努めています。また、要望の難しい部分に関しては家族と相談し問題解決に努めています。	利用者の希望や意向は、家族から聞き取るほか、日ごろのケアの中でじっくり向き合い、利用者の話に耳を傾けて把握している。把握が困難な利用者には、態度や表情の変化を見逃さず、思いや意向をくみ取るように努め、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の経歴等、アセスメントシートを利用し把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の一日の過ごし方は、個人記録・申し送りノート等を活用し、スタッフ全員で共有把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の要望をお聞きしケア会議で意見を出し現状に即した介護計画を作成しています。	居室担当者が行ったモニタリングを基に職員間で話し合いを持ち、家族の意見も聞いて、計画作成担当者が介護計画を作成している。通常6か月毎に、状況に変化があればその都度モニタリング・評価を実施し計画を見直している。	業務日誌に、計画の目標に対する実施記録の記入欄があるものの、一部未記入でした。全職員が目標と達成状況を意識しながら支援に取り組むことが望まれます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録においての変化は、ケース記録・申し送りノート等から把握し、会議で情報を共有しケアプランに反映しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会時間外でも面会を許可しており、また体調不良時における受診対応は、必要に応じて支援を行なっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には、参加をするようにしています。また、天気の良い日は、地域を散歩しながら近隣の店舗でおやつを召し上がっていただきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診は、月2回のサイクルで行っています。往診日以外に関しても、体調不良であれば対応させて頂いております。急変や特別な状況の場合は、家族に連絡をしております。	2か所の協力医と契約を結んでおり、全員が月2回往診を受けている。入居前からのかかりつけ医を受診する方は家族が対応している。訪問歯科と訪問マッサージが月2回来訪するほか、法人の看護師が週3回訪れ、利用者の健康管理をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の出勤時は、必ず利用者様の健康チェックを行い、申し送りノートや介護士からの情報収集し、把握した中で主治医と連携をとり、適切な対応をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院をされた際は、病院関係者・ご家族と密に連絡をとり情報を把握しております。また、定期的にお見舞いを実施しています。退院時には立会い、今後のケアの参考にす為、病院関係者から情報を収集しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、契約時に説明し、早期に主治医・家族と連携をとりながら対応するよう心がけています。	入居時に「利用者の急変時や重度化した場合における対応に係る指針」を利用者、家族に説明して同意を得ている。重度化した場合、家族と再度話し合いをし、医師、看護師と連携を取りながら支援していく方針を打ち出しているが、まだ実例はない。	早い段階から計画的な研修を実施し、重度化や看取りに備えられることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応に関しては、マニュアルを作成し常に見える場所に掲示しています。また定期的に研修を行い、周知徹底しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のため、食料・水の備蓄をしています。また、年2回の避難訓練を実施しています	年2回防災訓練を実施しており、夜間想定避難訓練を実施したほか、通報やAEDの使い方の訓練も行った。災害時の地域の協力体制はまだ得られていない。水や非常食3日分とリハビリパンツは確保されているが、カセットコンロ、簡易トイレなどの備品が整備されていない。	災害時の協力が得られるよう、自治会や近隣住民に働きかけるとともに、地域の防災訓練などに参加され、地域との協力関係の構築に努めることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉掛けにも注意し対応しています	職員は、入社時研修でプライバシーや個人情報の保護について学んでいる。プライドを傷つけるような言葉遣いや馴れ馴れしい言葉かけはしないなどを周知徹底している。個人に関する情報は事務室の書棚に保管し夜間は施錠している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、お手伝い・散歩・レクへの参加は、ご本人の意志を尊重しながら決め手頂くように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様の目線にあわせながら、利用者様のペースで何をしたいかを見極め支援させて頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月、ご利用者様の要望を聞きながら、訪問美容を利用しております。また更衣時に本人の意志を尊重し、好きな洋服を着て頂くよう支援しています。選ぶ事のできない利用者様には、ご本人が似合う洋服を選んで差し上げています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日のメニューを、掲示し利用者様が今日のメニューが理解できるようにしております。配膳、食器拭き等の片付けをして下さいます。	利用者と一緒に過ごす時間を確保するために、食材業者の冷凍食を利用し、ご飯のみ職員が炊いている。利用者は配膳や食器洗いなど、それぞれができることを手伝っている。月に1度、パンバイキングの日を設けたり、焼きそばを作ったり、時には外食に出かけたりして楽しんでいる。利用者の誕生日にはケーキを出して祝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量に関しては毎日、ケース記録に記入しチェックしております。摂取量の少ない利用者様に関しては、工夫をして摂取して頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをしていただいています。自力では出来ない方は、職員が支援しています。また、訪問歯科も2週間に一度、口腔内の診察を定期的実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	現状オムツで無い方は、失敗が重なっても、サイクルを把握し誘導し極力現状維持を保つようにしています。安易にオムツに変えないようにしています。	自立の方が多いが、排泄チェック表でパターンを把握し、必要な時はさりげなく声掛けをするなど、現状が維持できるよう支援している。足元が不安定であっても、手引き歩行で誘導してもらい、トイレでの排泄をすることで、自身のプライドを維持している方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番大事な水分摂取の把握をしましまた要望があればヨーグルト・バナナ等を提供しています。それでも改善出来ないのであれば、医師と相談をしながら対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の体調・要望を把握した中で入浴をして頂いております。	週2回、午前入浴を基本としているが、午後に変更することもある。清拭や足浴、シャワー浴など、利用者の希望に対応している。入浴を好まない方が多いので、声掛けの仕方を工夫している。しょうぶや職員が持ってきてくれたゆずで季節の湯を楽しんでいる。浴室、脱衣所ともにヒートショック対策をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	適度なお昼寝をして頂くように支援しています。また夜間安眠していただける様、巡視を行い室温等をチェック、安全確認し安眠していただく様にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が使用している薬について理解するように努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お好きな方に洗濯干し・配膳の手伝いをして頂いておりますが、ご本人の意志を尊重しながら気分転換が出来るように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の日はお天気と相談しながら、散歩やドライブの支援をしております。また行事の予定を決めて、出来るだけ外での行動を支援しています。	少人数に分かれ、1人週2-3回散歩をしている。法人の車で地域ケアプラザの催しに出かけたり、ユニット全員で花見、紅葉狩り、動物園などにドライブに出かけ楽しんでいる。車いすの方も同行している。利用者の希望で外食に行くこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金を持つ事を家族了解の元禁止しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設への本人宛の電話・手紙等があった場合は取り次いでいます。ご本人からの電話の要望があった場合は状況を見ながら、電話をしています。携帯電話を持っている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感の味わえる花などを飾り、また壁に季節の張り紙を貼っています。	明るくゆったりとしたリビングは、利用者の導線に合わせて家具の配置をし、相性を考慮し席決めをするなど、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。壁には、季節感のある折り紙などの手作りの作品や利用者の出身地に顔写真を貼った「ふるさとめぐり」の地図を飾っている。感染症予防のため加湿にも気を配っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中などは居室やフロアで思い思いに過ごしていただけるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内のレイアウトは利用者、家族にお好きなようにしていただいています。	エアコン、クローゼット、ベッドなどが備え付けられているほか、夜間の事故防止のため、ベッドの上部に赤外線センサーが設置されている。利用者は、自宅で使い慣れたタンスやテレビ、仏壇を持ち込み、家族の写真や人形などを飾って自分らしい居室にしている。	

55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内のいたるところに手すりは設置して有ります。浴室・トイレにも設置してあります。また、案内板も設置済です。場所が理解できない利用者様には、その都度、誘導をしております。		
----	--	---	--	--	--

事業所名	花物語 ふじがおか
ユニット名	ふじがおか 2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域と共に施設作り考え、「その人らしく生きる」「温かい心を持ち接し」この様な考えを常に持ち、実践に繋げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	もえぎの地域ケアプラザ主催のおまつりや音楽会に利用者が見学に行っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	開所1周年行事等のときに、近隣の方に参加していただけるよう腰痛予防マッサージ教室を開催しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し、利用者様の状況・事故・行事等を報告しています。報告後、家族・自治会長・包括等の意見を頂きサービスの向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の職員・自治会長の方々に関しては、運営推進会議に参加して頂き、常に情報を共有し、意見交換を行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ドアを開けるとバス通りのため玄関は安全対策の為に施錠しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、常日頃ミーティング等で様々な例を掲げ指導をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、内部研修を行なっていますが、今後外部研修等も踏まえ、常日頃から職員間で話せる場を設けていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の際の契約は、全て読み合わせを行い、家族が理解しやすい様に説明をし、不安なく入居出きる様に対応をしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に来られた時は家族とコミュニケーションを図り、意見や要望を話して頂けるように努め運営に反映できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議を実施。業務の会議だけではなく、スタッフの意見・要望等を聞き、風通しの良い職場作りに専念しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は給与水準など、やりがいを持って働けるように努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の研修を行い個々にスキルアップができる様に実施しております。外部研修に関しても、昨年度から外部研修先との契約を結び、よりスキルの高い研修ができるようになっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今は、月1回のエリア長会議を実施し神奈川エリアのグループホームの状況を把握し問題点等を話し合っております。職員同士の交流は施設研修を兼ねて、随時行って行く予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分なアセスメントをとり、プランを作成しています。スタッフ全員が把握し入居後、安心して生活をして頂ける様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の要望・家族の思い・困っている事・を十分に把握し、本人がどのような生活・家族がどのように過ごしてほしいか？を考えながら関係を築いていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員が情報を共有し、本人・家族が何を必要としているかを見極め、対応するように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として敬い、出来る事はご自分でしていただき、その方を尊重し尊厳を保ち生活をしていただけるように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会、外出、外泊等、家族との時間を過ごして頂きながら、本人の情報を共有し、共に支えていくように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設利用前より利用していたカラオケ教室に毎月家族と行かれている方がいます。馴染みの方と会う事を楽しみにされています。このように馴染みの関係が途切れないように支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で行うレクに関しては（トランプ・体操・風船バレー）は皆さんと行なえるように声掛けをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了されても、お客様より相談があった場合は対応をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握が出来るように、会議や家族に相談しながら努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の経歴等をファイルし、スタッフ全員で情報を共有し、今後のサービスの向上に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の一日の過ごし方は、個人記録・申し送りノート等を活用し、スタッフ全員で共有把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医・看護師・ケアマネ・介護士等で、様々な意見を反映しケアプランを作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録における変化は、ケース記録・申し送りノート等から把握し、会議で情報を共有しケアプランに反映しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会時間外でも面会を許可しており、また体調不良時における受診対応は、必要に応じて支援を行なっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には、積極的に参加をしております。また、天気の良い日は、散歩やドライブも行い、随時外食も実施しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診は、月2回のサイクルで行っています。往診日以外に関しても、体調不良であれば対応させて頂いております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の出勤時は、必ず利用者様の健康チェックを行い、申し送りノートや介護士からの情報収集し、把握した中で主治医と連携をとり、適切な対応をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院をされた際は、病院関係者・ご家族と密に連絡をとり情報を把握しております。また、定期的にお見舞いを実施しています。退院時には立会い、今後のケアの参考にす為、病院関係者から情報を収集しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、契約時に説明し、早期に主治医・家族と連携をとりながら対応するよう心がけています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応に関しては、マニュアルを作成し常に見える場所に掲示しています。また定期的に研修を行い、周知徹底しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のため、食料・水の備蓄をしています。また、年2回の避難訓練を実施しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当施設の理念である、「共同生活の中で、その人らしい部分を尊重し、安全・安心・清潔をベースに笑顔のある生活」を常に考え支援しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、お手伝い・散歩・レクへの参加は、ご本人の意志を尊重しながら決め手頂くよう支援しています。無理維持はしておりません。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様の目線にあわせながら、利用者様のペースで何をしたいかを見極め支援させて頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月、ご利用者様の要望を聞きながら、訪問美容を利用しております。また更衣時に本人の意志を尊重し、好きな洋服を着て頂くよう支援しています。選ぶ事のできない利用者様には、ご本人が似合う洋服を選んで差し上げています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日のメニューを、掲示し利用者様に今日のメニューが理解できるようにしております。配膳、食器拭き等の片付けをさせていただきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量に関しては毎日、ケース記録に記入しチェックしております。摂取量の少ない利用者様に関しては、工夫をして摂取して頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの誘導をしています。自力では出来ない方は、職員の支援の下、ケアをしています。また、訪問歯科も2週間に一度、口腔内の診察を定期的実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	現状オムツで無い方は、失敗が重なっても、サイクルを把握し誘導し極力現状維持を保つようにしています。安易にオムツに変えないようにしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番大事な水分摂取の把握をしましまた要望があればヨーグルト・バナナ等を提供しています。それでも改善出来ないのであれば、医師と相談をしながら対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の体調・要望を把握した中で入浴をして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	適度なお昼寝をして頂くように支援しています。また夜間安眠していただける様、巡視を行い室温等をチェック、安全確認し安眠していただく様にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が使用する薬について理解するように努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝い好きな方には、洗濯干し・洗い物・配膳の手伝いをして頂いておりますが、ご本人の意志を尊重しながら気分転換が出来るように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の日はお天気と相談しながら、散歩やドライブの支援をしております。また行事の予定を決めて、出来るだけ外での行動を支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金を持つ事を家族了解の下、禁止しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設への本人宛の電話・手紙等があった場合は取り次いでいます ご本人からの電話の要望があった場合は状況を見ながら、電話をしています。携帯電話を持っている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感の味わえる花などを飾り、また壁に季節の張り紙を貼ったり、かけた時の写真を貼っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中などは居室やフロアで思い思いに過ごしていただけるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内のレイアウトは利用者、家族にお好きなようにいただいています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内のいたるところに手すりは設置して有ります。浴室・トイレにも設置してあります。また、案内板も設置済です。場所が理解できない利用者様には、其の都度誘導をしております。		

目標達成計画

事業所名 花物語 ふじバスター

作成日 平成 28年 5月 20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	区、担当職員と （伊勢面談）を 運営推進会議への 参加の依頼も して...。7711。	区、担当職員との 積極的 連携の強化を図る。	運営推進会議の 議事録を参考し 区の担当職員に 直接事業の状況を 伝える。	3ヶ月
2	35	災害時の地域との 協力体制の 構築...7711。	地域との協力 関係を構築する。	地域の防災訓練 等に参加し災害時の 協力を...7711 の...。	6ヶ月
3	26	業務日誌に...の 目標に対する実施 記録の記入欄を 追加...一部未記入... あり。	全職員...目標と 達成状況を 意識し支援に 取り組む。	記入...を... ...体制を整える。	3ヶ月
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。